

第8回国内観光活性化フォーラムについて

4月25日(月)から27日(水)まで、第8回国内観光活性化フォーラムに参加のため、富山県に行ってきました。

当初は、昨年青森開催の時と同様に、支部研修等も兼ねて会員を募って大勢で参加する予定で進めていましたが、3月11日の東日本大震災の発生により未曾有の被害を被った状況では取り止め、最小限の参加に留めるべきとの結論を緊急理事会で決め、支部三役及び事務局の4名で参加することしました。

フォーラムでは開会宣言直後に、高橋支部長をはじめ、青森、宮城、福島各県の支部長が登壇し、この度の大震災の被害に対する全国からの激励やお見舞いなど支援をいただいていることに対しお礼を述べさせていただきました。

また、二階会長をはじめ、溝口観光庁長官からの挨拶では、「観光で元気な日本に」、観光業界に携わる我々の使命をより積極的に果たしていただきたい等々、観光業界に大きな期待と力強い激励の数々を話されました。

シンポジウムでは、地旅の造成や送客への取組みモデル地区の代表として、全国から6名のパネラーが登壇し、その体験発表が行われました。当組合の佐藤理事長もその中の一人に指名され、地旅の相互利用による相互交流の体験談を発表しました。これは、地旅の目的そのものであり、全国で初めて実現させたこの相互交流は、集まった多くの会員から大きな関心と評価をいただけたものと実感し、今後も継続した取組の重要性も深めて帰ってきました。

経費節減の目的もあり、往復自家用車で移動、しかも強行日程の3日間でしたが、参加に協力をいただいた皆さんにはたいへん感謝申し上げます。

*出席者：高橋支部長・大久保長福副支部長・佐藤好徳副支部長・川村事務局長

